

**製品名: p300 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab03402**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 264 kDa; Observed MW: 300 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EP300
別名	EP300; P300; Histone acetyltransferase p300; p300 HAT; E1A-associated protein p300
遺伝子 ID	2033
SwissProt ID	Q09472
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド。アミノ酸範囲 1520-1570

**背景**

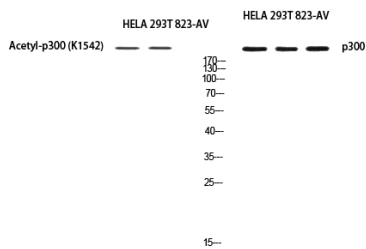
EP300: E1A 結合タンパク質 p300。この遺伝子は、アデノウイルス E1A 関連細胞性 p300 転写共活性化タンパク質をコードする。ヒストンアセチルトランスフェラーゼとして機能し、クロマチンリモデリングを介して転写を制御し、細胞増殖および分化過程におい

で重要である。リン酸化 CREB タンパク質に特異的に結合することで、cAMP 遺伝子の制御を媒介する。この遺伝子は HIF1A (低酸素誘導因子 1 $\alpha$ ) の共活性化因子としても同定されており、VEGF などの低酸素誘導性遺伝子の刺激に関与する。この遺伝子の欠陥はルビンスタイン・テイビ症候群の原因の一つであり、上皮癌にも関与している可能性がある。

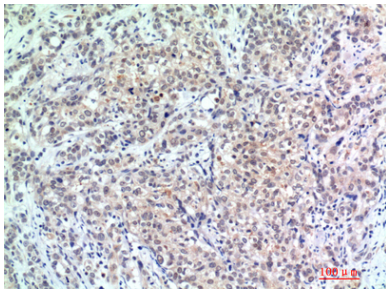
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



p300 抗体を使用した HELA、293T、823AV 溶解物中の p300 のウエスタン ブロット分析。



p300 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。